



**JASDAQ**

平成26年5月16日

各位

会社名 株式会社スーパーツール  
代表者名 代表取締役社長吉川 明  
( J A S D A Q ・ コ ー ド 5 9 9 0 )  
問合せ先 取締役経理部長 平野量夫  
電話番号 072-236-5521

(訂正)「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年4月23日15時10分に発表しました表記開示資料について、訂正がありましたのでお知らせいたします。なお、数値データにつきましては、訂正はございません。

記

#### 1. 訂正理由

##### (1) 経営成績・財政状態に関する分析関係

2ページの「1. 経営成績・財政状態に関する分析」「(1) 経営成績に関する分析」「当期の経営成績」「〔環境関連事業〕」の金額に一部誤りがありましたので、訂正するものであります。

##### (2) (セグメント情報等) 関係

16ページ及び17ページの「(8) 連結財務諸表に関する注記事項」「(セグメント情報等)」「【セグメント情報】」「3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報」「当連結会計年度(自平成25年3月16日 至 平成26年3月15日)」の金額に一部誤りがありましたので、訂正するものであります。

## 2.訂正箇所

訂正箇所は\_\_下線で示しております。

### 1.経営成績・財政状態に関する分析

#### (1)経営成績に関する分析

当期の経営成績

#### (訂正前)

##### 〔環境関連事業〕

原子力発電停止の長期化が続く中で、再生可能エネルギー発電設備の導入意欲は広がっており、初期投資や諸手続きにおいて負担の少ない低圧連系製商品の発売を開始して需要の掘り起こしを図るとともに、個別の状況に対応した提案力を強化してまいりました。また、大阪府内において太陽光パネルによる発電所2MWを設置し、平成26年3月より電力会社へ電力販売を開始いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は前連結会計年度比 166.5%増の 4,522 百万円（前連結会計年度は1,697百万円）、セグメント利益は前連結会計年度比 214.5%増の 236 百万円（前連結会計年度は75百万円）となりました。

#### (訂正後)

##### 〔環境関連事業〕

原子力発電停止の長期化が続く中で、再生可能エネルギー発電設備の導入意欲は広がっており、初期投資や諸手続きにおいて負担の少ない低圧連系製商品の発売を開始して需要の掘り起こしを図るとともに、個別の状況に対応した提案力を強化してまいりました。また、大阪府内において太陽光パネルによる発電所2MWを設置し、平成26年3月より電力会社へ電力販売を開始いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は前連結会計年度比 155.6%増の 4,338 百万円（前連結会計年度は1,697百万円）、セグメント利益は前連結会計年度比 194.5%増の 220 百万円（前連結会計年度は75百万円）となりました。

(8) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

(訂正前)

当連結会計年度(自 平成 25 年 3 月 16 日 至 平成 26 年 3 月 15 日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	金属製品 事業	環境関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,693,682	4,335,348	9,029,031	9,120	9,038,151		9,038,151
セグメント間の内部 売上高又は振替高		<u>187,547</u>	<u>187,547</u>		<u>187,547</u>	<u>187,547</u>	
計	4,693,682	<u>4,522,896</u>	<u>9,216,579</u>	9,120	<u>9,225,699</u>	<u>187,547</u>	9,038,151
セグメント利益	981,475	<u>236,011</u>	<u>1,217,486</u>	4,310	<u>1,221,797</u>	<u>355,257</u>	866,540
セグメント資産	6,932,688	<u>2,615,071</u>	<u>9,547,759</u>		<u>9,547,759</u>	<u>1,586,211</u>	11,133,971
その他の項目							
減価償却費	85,610	<u>3,058</u>	<u>88,668</u>	3,448	<u>92,117</u>	<u>12,169</u>	104,286
減損損失				66,460	66,460		66,460
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	94,581	<u>563,350</u>	<u>657,932</u>		<u>657,932</u>	<u>13,811</u>	644,120

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額 355,257 千円には、セグメント間取引消去 11,179 千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用 344,077 千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産の調整額 1,586,211 千円には、セグメント間取引消去 15,932 千円及び報告セグメントに配分していない全社資産 1,602,144 千円が含まれております。全社資産は、主に

報告セグメントに帰属していない親会社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。

(3) 減価償却費の調整額 12,169 千円は、セグメント間取引消去 320 千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用 12,489 千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額 13,811 千円は、セグメント間取引消去 15,594 千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産 1,782 千円であり、親会社での車両運搬具であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

当連結会計年度(自 平成 25 年 3 月 16 日 至 平成 26 年 3 月 15 日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	金属製品 事業	環境関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,693,682	4,335,348	9,029,031	9,120	9,038,151		9,038,151
セグメント間の内部 売上高又は振替高		2,668	2,668		2,668	2,668	
計	4,693,682	4,338,017	9,031,700	9,120	9,040,820	2,668	9,038,151
セグメント利益	981,475	220,981	1,202,457	4,310	1,206,767	340,227	866,540
セグメント資産	6,932,688	2,600,041	9,532,729		9,532,729	1,601,241	11,133,971
その他の項目							
減価償却費	85,610	2,984	88,594	3,448	92,042	12,243	104,286
減損損失				66,460	66,460		66,460
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	94,581	548,246	642,828		642,828	1,292	644,120

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額 340,227 千円には、セグメント間取引消去 3,850 千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用 344,077 千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額 1,601,241 千円には、セグメント間取引消去 902 千円及び報告セグメントに配分していない全社資産 1,602,144 千円が含まれております。全社資産は、主に報告セグメントに帰属していない親会社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産であります。
- (3) 減価償却費の調整額 12,243 千円は、セグメント間取引消去 246 千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用 12,489 千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額 1,292 千円は、セグメント間取引消去 490 千円及び各報告セグメントに配分していない全社資産 1,782 千円であり、親会社での車両運搬具であります。

3. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

以上